

TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成25年12月9日 第79号
浜田市農林業支援センター

はじめに

新聞やTVでは連日のように、経営所得安定対策や米政策の見直しをめぐる報道がされています。「総合的な米の需給調整と農家所得の確保を図る仕組みへの移行を目指す。」とありますが、急な政策転換によって生産現場の混乱や不安を感じるのは私だけではないと思います。多くの農業者がこの先安心して、希望の持てる農業施策になる事を願っています。

今年も後1ヶ月を切りました。健康には充分気をつけてよい年をお迎えください。

(浜田市農林業支援センター長 大谷 十三一)

1. 各支援チームからの話題

★ 新規就農者支援チーム (担当: 稲田・中田)

(有)KKN (研修場所=きんた農園ベリーネ)で農業研修を行っている徳本隆平さんは、京都府の農業大学校在学中に、いちごの栽培について勉強されました。その後、実践的に栽培に取り組んでみたい、もっといちごの知識を学んでみたいと、浜田市の研修制度に応募され、今年4月から研修がスタートしています。

開始当初は戸惑いが多かったようですが、今は周りの状況を見られるようになり、できる作業も増えてきたとのことで、「作業の意味を一つ一つ理解することで、作業の重みを感じている」と話されました。

きんた農園ベリーネでは今年もいちごの生育状況は順調で、現在は観光農園のオープン準備を進められています。徳本さんにとっても『実りある研修』であるよう期待しており、当支援センターでは、引き続き農業研修生を応援していきます。



がんばる農業研修生！

● 認定農業者支援チーム (担当: 中田・稲田)



12月2・3日、4県(島根県・広島県・山口県・大分県)集落営農法人連絡協議会サミットが、情報交換会(1日目)、現地視察(2日目)の日程で、浜田市を会場に開催されました。本サミットは、集落営農法人間の連携を強化し、組織の持続的な発展を目的に、一昨年より、県段階で開催されています。

その中で、2日目の現地視察は、弥栄町の認定農業者(農)ビゴル門田(牛尾英昭 組合長)の取り組み等が紹介されました。発表では、1ターン者の受入れ事例等、これまでのさまざまな地域ぐるみでの活動状況を、実際のほ場見学も加えて報告され、集まられた各地の集落営農の皆さんは熱心に聞き入っておられました。

おられました。

ビゴル門田は、平成11年3月に集落全員が組合員として、現在の農事組合法人を設立され、常に集落の活性化を図る取り組みを行っています。今後も、集落営農法人としての先進的な取り組みを期待するとともに、当支援センターとして、引き続き応援していきます。

■ 集落営農組織支援チーム (担当: 田原・森脇)

11月16日、金城町において農事組合法人「てごの里おぐに」(組合員64名)の設立総会が開催され、浜田市で7組織目となる集落営農法人が誕生しました。

「てごの里おぐに」は平成20年に営農組合として設立され、これまで地域の農業者と連携して水稻作業受託、椎茸や唐辛子の生産、こんにやくなどの加工の他、雪かきや草刈りなどの地域の生活支援などに従事してきました。この度農業部門をより強固にし、将来は農地を借り受けることも想定して小国地区をしっかりと支えて行きたいという思いから、法人設立の運びとなりました。今後は法人が農業部門を担い、引き続き営農組合が生活支援部門を担っていくことにより、「てごの里おぐに」は地域を総合的にサポートしていく計画となっています。



地域を支える農事組合法人誕生！

中山間地域では、集落営農組織の活動は地域農業・生活の維持という観点において特に重要な意味を持っています。貴重な担い手として、今後も設立支援を続けていきます。

2. うまいもん祭り～次代に伝えたい味～

本誌先月号にてご案内しましたとおり、11月23日にJAいわみ中央本所ふれあいホールにおいて、**第4回 JA 女性部の集い「うまいもん祭り～次代へ伝えたい味～」**が開催されました。「うまいもん祭り」は**JA 女性部**が中心となり、地元食材を使って浜田の伝統料理を再現する行事で、約100名の方々が来場されました。

食文化紹介では日本全国のお雑煮が紹介され、浜田地域においては昆布だしを用いて黒豆をあしらったものが基本となる中、浜田市の旧5市町村と江津市それぞれの独特なレシピが紹介され、会場からは感心する声があがりました。

また餅つきのデモンストレーションでは、JAいわみ中央 本田組合長（写真左）、来賓の久保田浜田市長（写真右）と会場の2名の有志が杵を振るい、ホールが揺れるほど力いっぱいに作られたお餅は、お雑煮として来場した皆さんにふるまわれました。

女性部の方々が腕によりをかけて作られた料理はとても美味しく、今回も楽しい行事となりました。



3. 平成24年度の集落ビジョン実践塾活動報告会が開催されました



11月13日、大田市の島根県立男女共同参画センター「あすてらす」において、昨年度（平成24年度）の集落ビジョン実践塾活動報告会が開催され、浜田市の受講組織である、旭町の**上ノ谷**集落 河野幹夫さんが、この1年間における当集落の取組み状況を報告されました。この中で、集落の農地は、集落全体で守っていく仕組みを構築されるなど、「集落で共有し、集落で育てていく」ビジョンが発表されました。

この集落ビジョン実践塾は、担い手不在の集落をカバーしていく仕組み作りとして、集落のビジョン作成と実現に向けて、各地域や集落・営農組織が抱える課題を明らかにし、その解決に向けた活動を支援する目的で始められました。

平成25年度は、金城町の**（農）ひやころう波佐**が集落ビジョンの作成に向かって取組まれています。当支援センターでは、引き続き関係機関と連携しながら取組みを支援していきます。

4. 平成25年度普及活動・試験研究成果発表会のご案内

1月30日、出雲市において標記の発表会が開催されます。これは島根県が農業・農村の活性化に向けて取り組んでいる普及活動・試験研究を県内の生産者・市・JA等に紹介するものです。

当日は果樹や施設野菜などの生産に関する研究報告や担い手育成に関する発表が行われる他、様々な研究内容がパネルにまとめられて展示されており、研究成果に気軽に触れることができます。

中でも、分科会では環境を守る米づくりの取り組みとして、浜田市三隅町で**（有）三隅町農業支援センター** **みらい**が除草剤を使わずに栽培しているキヌムスメ「**水澄み舞**」が紹介されます。

参加をご希望される場合は、当支援センターまでご連絡ください。

※申込み締め切りは1月9日（木）です。

日時 平成26年1月30日（木）10時30分～16時30分

場所 ビッグハート出雲（出雲市駅南町1-5）

巳年の次は僕の出番。
皆様良いお年を！

- 当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご覧いただけます。
- ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741（JAいわみ中央本所分館2階）

TEL：0855-22-3500 FAX：0855-22-3477 E-mail：n-shien@city.hamada.shimane.jp

